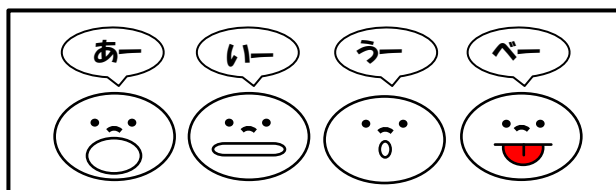


「口や舌の体操をしましょう」

話をする時は、口・舌などの口腔器官が連動しながら細かい運動をしています。口や舌が柔軟に動くことで、正しい発音の獲得につながり、よく噛んだり飲み込みやすくなったりします。ぜひ、ご家庭でも口や舌の体操をしてみてください。

「口の体操（あいうべ体操）」

- ・「あ」口を大きく開けて
- ・「い」口を横に引いて
- ・「う」タコのように唇を尖らせて
- ・「べ」舌をおもいっきり出して



＊ゆっくり、しっかり、大きく動かしましょう。10回くらい続けてできるかな。

＊「いー」のとき、左右対称に唇を横にひけるかな。

＊「べー」のとき、先が丸く全体が広がった舌をつくれるかも見てください。

発音するとき、先が丸く全体が広がった平らな舌が必要になります。

舌が細くなり中央部が盛り上がる場合は、鏡で見ながら「ふわふわの形」・「お皿の舌」などの声かけや大人が見本を見せながら、平らな舌がつくれるかやってみてください。スプーンの背で軽く舌先に触れると力が抜けて平らな舌がつくりやすくなります。

～いっしょに遊ぼう～

就学前の子どもの行動は「生活と遊び」の二本立てです。

『遊んでばかり』がどれだけ素晴らしい事か、保育園（所）、幼稚園、子ども園などの現場では身にしみて感じる事です。遊べないと集団生活に適應するのに時間がかかります。

ここで間違っはいけないのは、集団生活とは、先生の言うことに従う事ではありません。友達や大人とコミュニケーションを豊かに取り、相手を感じ、自分で考え、理解して行動する。そういう主体的行動が集団の中で正しく機能する事なのです。

それが難しいと、言われたとおり考えずに動く事になります。しかし、分かってないため適切な行動が取れなかったりします。

行動とは遊ぶこと→実体験、成功体験を繰り返し、満足感、充実感、達成感を味わう。自分が満たされて始めて人と豊かなコミュニケーションが取れます。

心の満足、充足感は小さな事で十分叶う場合が多いので保護者の出番です。

向い合って手をつなごう！

保育園などでわらべうたをしていると、年長で「握手」が分からない子が結構いる事に驚かされます。日常動作にない動きなんですね。

社会に出れば、散歩のように並んで手をつなぐより、人との出会いにお辞儀や握手の方が大事な作法になっていきますよね。今の時期は「なべなべ」や「にらめっこしましょ」など手をつなぎ人の温もりを感じる遊びが大切です。大好きな親とのひと時は、『相手を感じる』一番の時間になります。

幼児教育センターは、就学前から小学校教育へつなぎます
夢と希望のもてる たからっこを
応援します！

宝塚市教育委員会 幼児教育センター

〒665-8665 宝塚市東洋町1-1

電話 0797-71-1141(市役所)

0797-77-2132(直通)

FAX 0797-71-1891

E-mail m-takarazuka0289@city.takarazuka.lg.jp



★ 発達、就園・就学等の相談がありましたら、上記にご連絡ください。